



発行／公益社団法人 昭島市シルバー人材センター 編集／広報委員会



作 仙波富子会員

〒196-0022 東京都昭島市中神町2丁目32番18号
電話 042-544-7060 FAX 042-543-9272
ホームページ : <http://www.akishima-sc.or.jp/>

会員数	男性	女性	合計
(平成28年12月26日現在)	811人	300人	1,111人



新年のご挨拶

会長 伊藤 周治

新年あけましておめでとございませう。

会員の皆様には、健やかなお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、全国のシルバー人材センターに対する補助金が、数年前に約30%以上カットされましたことは、ご案内の通りであります。3年前より「自由民主党シルバー人材センター活性化議員連盟」のご努力などにより、補助金の内容は多少変わりましたが、ほぼ復活することができました。誠に有難いことであります。

そして「シルバー人材センター労働者派遣事業」についてですが、平成29年度より開設します。

昨年の事業実績は、一昨年に比べて若干ながら増えております。これは会員をはじめ、行政、そして市民の皆様方のご支援、ご協力によるところであります。

一方会員数については、年度の前半は1,100名を下回っていましたが、後半は1,100名を上回ることができました。

また、10年を経過したパトロールボランティア活動につきましては、会員の皆様とともに推進してまいりますので、ご協力よろしく願います。

最後になりましたが、会員皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

昭島市長 白井 伸介

新年明けましておめでとございませう。

平素、公益社団法人昭島市シルバー人材センターの皆様には、市政に対しまして特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

皆様はどのような新年をお迎えになったでしょうか。

今年の干支は酉年のにわとりであります。にわとりは新年の明け方にも一番に鳴く鳥のため縁起が良いとされています。

酉年の本年が、希望に満ちた明るく良い年となりますように皆様とともに期待した



新年のご挨拶

副会長（総務部会長） 奥山 毅

新年明けましておめでとございませう。

会員の皆様におかれましては清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

振り返ってみますと、昭和50年に昭島市高齢者事業団として設立し、昭和61年からは、国庫補助も受けられる団体となりました。この間、地域団体や地域の方々のご支援を頂きながら、地域になくはない公益法人として、成長し発展を遂げてまいりました。今後とも健康維持や体調管理に十分に気を配り、体をいたわりながら、地域社会の要望する多くの場面で貢献できるように、生涯現役を目指しながら活動してまいります。



年頭にあたり

常務理事 光富 宏規

新年あけましておめでとございませう。

さて、センターはこの4月にスタートします「第三次中期計画」を大きな柱にしまして、多くの課題に取り組んでまいります。中でも最重要課題は、会員増強と就業機会の拡大であります。

会員増強につきましては、あらゆる施策を講じておりますが、最も効果的なのは会員の「口コミ」であります。皆様の積極的なご協力をお願いいたします。

就業機会の拡大につきましては、シルバー人材センター労働者派遣事業への参入・新事業の開拓など組織として取り組みますが、全会員に開拓要員としての機会を捉えていただくことが求められます。

いと存じます。

市では、快適で住みやすい「住んでみたい、住み続けたい昭島」と思っていただけ
るようなまちづくりを、大きく進めていきたいと考えています。

これからのまちづくりには、高齢者の皆様が心身ともに健康で、積極的に社会参画
をしていただくという視点が益々重要なものになってまいります。

皆様方におかれましては、健康に留意しながら、これまでの貴重な経験を生かして
いただき、「自主・自立」、「共働・共助」のシルバー人材センター事業の理念のもと
事業発展に励みながら、昭島のまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げ
ます。

結びに、公益社団法人昭島市シルバー人材センターの益々の発展と、会員の皆様、
ご家族の皆様のご健康、「ご活躍を心から」ご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせて
いただきます。



年頭にあたり

昭島市議会議長 杉本 英二

あけましておめでとございませう。

平成29年の年頭に当たり、昭島市議会を代表いたしまして、昭島市シルバー人材セ
ンターの皆様方に新春を寿ぎ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

貴センターにおかれましては、平素より高齢者の方々ととり、生きがいの創出と地
域社会の活性化に多大なるご貢献を賜っておりますことに、深く敬意を表し、感謝
を申し上げる次第でございます。

我国は、少子高齢化の進展により、人口減少時代を迎える中で、「ご高齢の方々が生
涯現役として、多様な形で社会参加されることが、若手の先導役として大変重要と
なっております。それこそがこの「昭島」をより良くする要であり、貴センターは、
今後ますます肝要な拠点となってまいります。

昭島市議会といたしましても将来にわたり、皆様方と共に手を携え、活力ある地域
社会の推進にこれまで以上に邁進してまいり所存でございます。

結びに、会員の皆様方が、本年もお元気に「ご活躍されますことと、昭島市シルバ
ー人材センターのご発展を心より祈念申し上げます、新春のご挨拶といたします。

お客様あつてのセンター事業です。今後とも「期待
に心えて、信頼されるセンターであり続けたいもので
す。

最後になりましたが、会員の皆様、「ご家族の皆様
のご健勝と「ご活躍を心から」お祈りいたします。



行動の年

事業部会長 奥村 礼二郎

あけましておめでとございませう。

第三次中期計画が策定されるスタートの年です。な
かでもシルバー人材センター労働者派遣事業で事業内
容を慎重に精査しながら、時代の変化に対応すべく事
業活動の中で企業訪問を通じ「就業開拓カード」や「仕
事内容一覧」のイラストを活用し就業機会の拡大に努
めます。誠実な就業による信用・信頼こそが重要にな
ります。私達はお客様あつての事業です。今ある仕事
に感謝しながら、お客様からの「ありがとございま
す」につながると思います。

また、地域社会活動において多様なボランティア活
動にも参加し、交流の場を広げ元気で活力あるシル
バー人材センターを目指します。

皆様のご協力と「ご理解を賜りますようお願いいたし
ます。



接遇研修が開催されました

11月21・22日の2日間、接遇研修が行われました。今回の参加者は、主に民間企業で接客を必要とする仕事に携わる方を対象とするものでした。

講師は唐沢先生で、「お客様から信頼を得られる仕事」をするにはどうしたらよいか。接遇の基本に挨拶・好感の持てる笑顔・話を聞く態度・身だしなみが、あります。その中でも、笑顔に不可欠な「い・う体操」を一日10セット行うことにより、口元、口角が上がリ印象が変わってくるのお話がありました。また、実際に起こったトラブル事例をあげ、わかりやすくお話しいただき、「接遇」についてより一層理解を深めました。

今ある仕事を大切に、今後も仕事を継続していただけるように今回の研修を活かして就業していきましよう。接遇研修は毎年、定期的に行っています。次回は2月に学校管理班・自転車管理班・家事援助サービス班・植木班などを対象とした研修を予定しています。



理事会だより

10月定例理事会（10月31日）

議決事項

- ・ 会員の入会承認について、男性12名女性7名計19名の入会が承認されました。
- ・ 就業基準に基づく再契約について22件延33名の再契約が承認されました。

報告事項より一部抜粋

- ・ 会長、副会長及び常務理事より平成28年度上半期の職務執行報告が行われました。
- ・ 事務局より適性就業ガイドラインについての説明があり、今後、会員及び発注者へ周知していくことが報告されました。

- ・ 事業部会より「昭島市市民活動&ボランティアフェスティバル2016」（主催・昭島市ボランティアセンター、2月4日開催）参加企画案が提出され、実現に向けて事業部会を主とした動きの開始が了承されました。

11月定例理事会（11月28日）

議決事項

- ・ 会員の入会承認について、男性11名女性2名計13名の入会が承認されました。
- ・ 就業基準に基づく再契約について203件延954名の再契約が承認されました。

れました。

報告事項より一部抜粋

- ・ 第三次中期計画スローガンについて候補6案より無記名採決を行いました。結果、2案に絞られたため決選投票を行い「地域で活かそう シルバーパワー」が採択されました。

- ・ 光富常務理事より、11月11日に東京しごと財団で行われた平成28年度シルバー人材センターフォーラムに、伊藤会長、奥山副会長とともに参加。基調講演「生き甲斐就業による介護予防効果の見える化」などを聴講。会員の健康状態についてなど、今後のセンター運営の参考にしたという報告がありました。
- ・ 広報委員会より、新年号からの発行日を、春季号4月15日、夏季号8月1日、秋季号11月1日、新年号1月15日にすることが報告されました。

年度会費のお知らせ

年度会費は3月31日までです。

4月1日になりますと、29年度の会費（2,800円）が発生します。退会をお考えの方は3月31日までに事務局へ退会届の提出をお願いいたします。

安全就業推進大会レポート

10月27日、当センター2階研修室において「安全就業推進大会」が開催されました。

会員54名に参加いただき、伊藤会長の挨拶に始まり、その後28年度の安全就業標語の表彰式が執り行われました。既にお知らせの通り、最優秀賞は「老いを知り 急がずあわてず ゆっくりと」(森田猛会員)です。

続いている健康管理講座では、㈱フィードプロテクトの岡本講師による転倒予防体操をテーマとした各種運動・体操を紹介いただきました。我々シルバー会員に役に立つ運動・体操方法を面白おかしく紹介され、有益な体験となりました。

次に安全就業体験発表が行われました。今回は植木班(佐久間会員)、道路除草班(小柳会員)、自転車管理班(和智会員)の3



班による仕事内容の説明、安全就業の取り組み等の発表があり、質疑応答後に戸田委員長の締め挨拶で閉会いたしました。

交通安全講習会開催

12月15日午後1時30分より、当センター2階研修室およびセンター前庭において、交通安全講習会が開催されました。当日は32名の方が参加されました。

今回は特に、「自転車の正しい乗り方」

をテーマに昭島警察署交通総務係長の黒澤警部補他4名の署員のみなさんにご指導をいただきました。まず研修室にて、ビデオ「孫に教わる自転車」の交通安全ルール・マナー」を視聴。

要点の説明と参加者との質疑応答の後、センター前庭にて実



技指導に移りました。仮設道路を設けて、会員が普段乗っている自分の自転車での交通ルールの指導を受けました。みなさん緊張しながらも慎重に運転の確認していました。視覚、聴覚、筋力の低下は思いのほか進み、思い込みの判断は危険を伴います。交通ルール・マナーを再確認し、正しく、安全な自転車の乗り方を身につけ、就業途中はもちろん、またプライベートでも事故に遭わないよう気を付けましょう。

パトロールボランティア(パト・ボラ) 活動報告 成隣小学校編

パト・ボラ実行委員 阿部 靖
成隣小の登録会員は35名。平日の活動は、低学年下校時刻の2時30分と高学年下校及び学童帰宅時刻の3時30分からの2回に分け、東門坂下にある立川堀にかかる橋に集合、子どもたちへの声かけやあいさつを交わし、学校の周辺や通学路を巡回、見守りをしています。

また、会員同士の親睦や情報交換、世間話に花を咲かせ、こんな雰囲気を楽しみで参加している会員もいるようです。

これからも当センターの会員の義務と心得て、地域の安全・安心のために継続して行こうと思います。



就業体験記① 植木班の伝承

宮沢町 伊藤 周治

当センター植木班の伝承には、諸先輩方から受け継いできたいろいろな事柄があります。その伝承の中で手箒について、お話ししたいと思います。

植木の剪定には、樹形に合った剪定が大切ですが、最後に行う掃除も大切な仕事です。この掃除に不可欠なものが手箒です。手箒は使用済みの竹箒を分解し、その中から良い穂を選んで作っていました。最近では新しい竹箒を分解して、手箒を作るようになりました。

十数年前より「産業まつり」で手箒を販売し、売り上げを昭島市社会福祉協議会へ寄付してきました。当初、興味はあるが実際に買う人は少なかった状況でした。ここ数年、柄付箒は完売で、手箒もだいぶ売れる



昭島市産業まつりにて手箒(点線内)を販売

ようになつてきました。これは市民の皆様が商品が認知されたものと思っています。

今後も伝承を大切にし、手箒作りに努力していきます。

就業体験記② エコパークの四季

つつじが丘 佐竹 典夫

美堀町にあるエコパークには梅、桜、ヒマワリ、コスモスなどが咲いていてきれいです。中でも桜は毎年違った種類を植樹して、現在7種の桜の花見ができ、賑わっています。

そんな自然の中、主な仕事は園内見回り、清掃、芝生の手入れ、雑草取り、落ち葉清掃など、草花を相手に汗をかきながらやっています。



にありがとう」など声をかけていただいたとき、そんな一言が何よりうれしくまたやりがいを感じます。これからも利用者の目線にたち、健康維持に努めながら頑張ります。

福井県福井市シルバー人材センターより視察

12月5日、福井市シルバー人材センターが理事主導型の運営方法について、当センターを視察に来ました。視察先を全国シルバー人材センター協会に問い合わせたところ、当センターを紹介されたとのこと。当日は積極的な情報交換が行われ、お互いとても有意義な時間になりました。



適正就業ガイドラインについて

現在、当センターでは、厚生労働省が作成したガイドラインを使用し、会員及び発注者へ適正就業についての啓発活動を行っています。

シルバー人材センターで働く会員の適正就業を確保するために、大変重要なこととなりますので、ご協力の程、よろしくお願いします。当センターでは現在、全て「請負」として仕事をを行っています。「請負」の目的は、業務を完成させることで、発注者は会員に指揮命令、できません。

万が一、指揮命令を受けて仕事をしている可能性がある場合は、事務局にご連絡をお願いいたします。

○発注者、シルバー人材センター、会員の関係





ちよっといい話

東村山市シルバー人材センターへ視察

11月30日に事業部会及び家事援助サービスマスの班長・コーディネーター等計8名で東村山市シルバー人材センターへ生活支援サービスマスの視察に行きました。

同センターは、平成28年4月から生活支援サービスマスを市からの委託事業で受注しており、実績も順調に伸びています。当センターでも東村山市同



様、来年度より市からの委託事業として受注する予定です。来年度に向け、大変収穫のある視察となりました。

東京都から感謝状が！

昭島市シルバー人材センターの「パトロールボランティア」活動が東京都から表彰されました。

東京都都議会議事堂1階都民ホールにて、表彰式が行われ、10年以上のボランティア活動の団体に与えられる「平成28年度東京都青少年・治安対策本部長賞」を受賞、感謝状を授与されました。



「就業相談の日」

毎月第1火曜日

◇9:30~11:30

センター事務所 2階

※担当理事が相談をお受けします

編集後記

パト・ボラ実行委員長

栗原 輝雄

〇明けましておめでとーございませう。新年を迎えて、会員諸兄妹にはどのような夢をお持ちでしょうか？ 日頃の活動が、地域に貢献するという役割を自覚していただき、ともにチャレンジして参りましょう。

岡 裕美

〇一年経つのは早いものですね。歳を重ね、あちこち経年劣化は著しく、確実に老いが進んでいるのを実感させられるこの頃です。そんな感じを緩和してくれるのが、

「仲間」です。本年は新しい「老介護」？ 始めましょうよ。

栗原 輝雄

〇十二支で10番目に数えられるのが今年の酉年です。酉とは鳥、もともと酒つぽを意味し、収穫した果実から酒を造るという行為に由来するとの説があるようですが、この説からも、〈酉〉に添えるのは「さんずい」に限ります。熱燗が恋しい時節です。今年も宜しくお願い致します。

三浦 武男

〇いつの間にか「後期高齢者」となり、毎日高齢者の事故記事に他人事でないと、気を付けるようにし、「今日用と今日行く」を motto に今年も皆様と一緒に元気に・・・？

折居 弘昭

〇酉年の人は儒教孫子の唱える五徳（智・信・仁・勇・威）を備えているそうです。頭の回転、洞察力、判断力、責任感、思いやりのある人。今年は自分の足りない五徳を補い「いずみ」と共に羽ばたきたいと思います。

平井 由子

〇広報一年生！ 微力ながらも編集に携われたこと、取材を通してお目にかかれた出会いに感謝いたします。今年も真摯に取り組まがりたいと思います。山本 晴子



産業まつりでセンターをPR



手芸の会の作品販売は完売でした



市の依頼で記録を撮り続けた映像制作グループ



おなじみのマスク配り。2日で3000セット！



接遇研修。自己紹介の指導を受ける



センター駐車場を使って交通安全講習会



「シルバーの日」のパト・ボラ全体行進



安全就業を心がけ松の手入れにはげむ植木班



1年間使う安全就業標語の作者、森田猛会員

新入会員募集中!!

ご紹介いただいた会員の方に粗品をプレゼント

入会者をご紹介ください。入会受付時に紹介した会員の氏名を書いていただきますので、必ずご記入するようにお伝えください。

28年度安全就業標語 テーマ：加齢による事故の防止策

老いを知り 急がずあわてず ゆっくりと